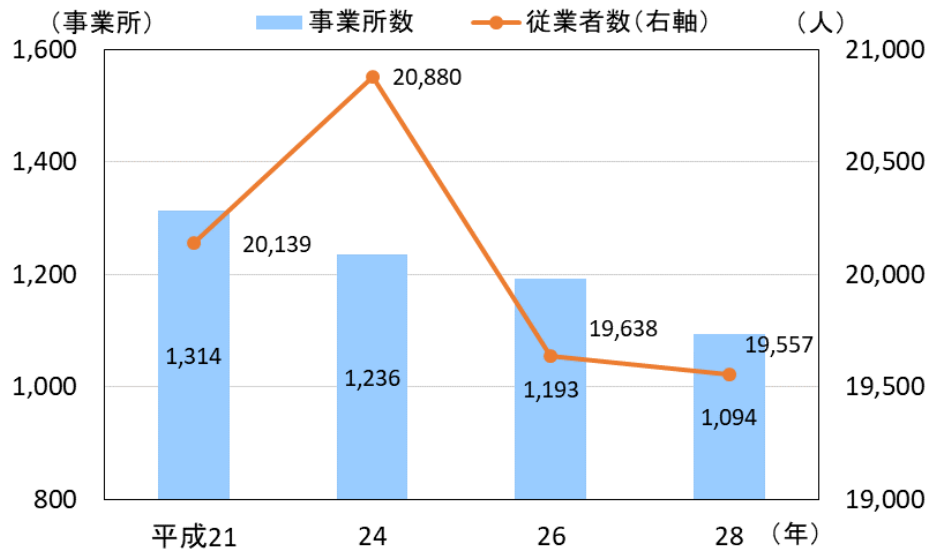


(5) 運輸業・郵便業

事業所数と従業者数

堺市の運輸業・郵便業の事業所数と従業者数の推移をみると、事業所数は平成21年から平成28年にかけて減少傾向にある。一方、従業者数は平成21年から平成24年にかけて大きく増加したが、その以降、平成24年から平成28年にかけて減少傾向となっている。

図表 75 堺市の運輸業・郵便業の事業所数と従業者数の推移



・データの出所：「経済センサス」(総務省)

堺市の平成 28 年の運輸業・郵便業の事業所数と従業者数を他の大都市と比べると、事業所数は 21 大都市中第 13 位、従業者数は第 18 位となっている。業種別をみると、道路旅客運送業は事業所数が第 4 位、従業者数が第 14 位となっている。

図表 76 運輸業・郵便業の事業所数の大都市比較（平成 28 年）

（単位：事業所）

	運送業 郵便業計		鉄道業		道路旅客運送業		道路貨物運送業		水運業	
	全国	130,398	全国	4,277	全国	23,028	全国	69,823	全国	3,046
	21 大都市	41,168	21 大都市	1,283	21 大都市	9,604	21 大都市	18,297	21 大都市	940
第 1 位	東京特別区	12,826	東京特別区	428	東京都別	4,214	東京都別	4,954	東京都別	349
第 2 位	大阪市	4,151	横浜市	109	大阪市	759	大阪市	1,803	大阪市	148
第 3 位	横浜市	3,211	大阪市	95	札幌市	440	横浜市	1,414	横浜市	81
第 4 位	名古屋市	2,282	名古屋市	82	堺市	418	名古屋市	1,165	神戸市	80
第 5 位	神戸市	2,136	神戸市	50	京都市	407	神戸市	853	北九州市	72
第 6 位	札幌市	1,639	川崎市	48	仙台市	389	札幌市	834	名古屋市	51
第 7 位	福岡市	1,610	広島市	48	広島市	359	福岡市	680	福岡市	45
第 8 位	北九州市	1,357	千葉市	43	横浜市	342	仙台市	613	広島市	35
第 9 位	川崎市	1,330	京都市	43	北九州市	305	川崎市	606	仙台市	12
第 10 位	仙台市	1,322	さいたま市	42	名古屋市	282	広島市	599	札幌市	10
第 11 位	広島市	1,279	北九州市	37	神戸市	277	北九州市	557	川崎市	10
第 12 位	京都市	1,160	福岡市	33	川崎市	272	京都市	501	浜松市	9
第 13 位	堺市	1,092	札幌市	32	福岡市	263	さいたま	494	堺市	7
第 14 位	さいたま市	843	仙台市	32	熊本市	166	岡山市	489	新潟市	6
第 15 位	静岡市	811	新潟市	29	新潟市	160	堺市	443	静岡市	6
第 16 位	新潟市	801	浜松市	28	千葉市	115	千葉市	428	岡山市	6
第 17 位	千葉市	784	岡山市	28	岡山市	108	新潟市	423	熊本市	5
第 18 位	岡山市	782	静岡市	27	静岡市	94	静岡市	409	千葉市	3
第 19 位	浜松市	656	堺市	18	さいたま	90	浜松市	405	京都市	3
第 20 位	相模原市	558	相模原市	16	相模原市	75	相模原市	352	相模原市	2
第 21 位	熊本市	538	熊本市	15	浜松市	69	熊本市	275	さいたま	0

(単位：事業所)

	航空運輸業		倉庫業		運輸に附帯するサービス業		郵便業 (信書便事業を含む)	
	全国	922	全国	10,605	全国	18,342	全国	130,398
	21大都市	377	21大都市	3,467	21大都市	7,049	21大都市	41,168
第1位	東京特別区	157	東京特別区	835	東京特別区	1,848	東京特別区	12,826
第2位	福岡市	51	大阪市	419	横浜市	906	大阪市	4,151
第3位	大阪市	45	横浜市	336	大阪市	869	横浜市	3,211
第4位	札幌市	18	神戸市	247	神戸市	614	名古屋市	2,282
第5位	名古屋市	18	名古屋市	212	名古屋市	461	神戸市	2,136
第6位	新潟市	15	福岡市	184	福岡市	344	札幌市	1,639
第7位	広島市	14	川崎市	167	北九州市	307	福岡市	1,610
第8位	岡山市	11	静岡市	131	川崎市	220	北九州市	1,357
第9位	京都市	9	札幌市	129	札幌市	171	川崎市	1,330
第10位	静岡市	8	仙台市	115	仙台市	152	仙台市	1,322
第11位	神戸市	8	さいたま市	89	千葉市	140	広島市	1,279
第12位	仙台市	6	広島市	83	広島市	138	京都市	1,160
第13位	北九州市	6	京都市	77	静岡市	134	堺市	1,092
第14位	横浜市	3	堺市	73	堺市	131	さいたま市	843
第15位	熊本市	3	北九州市	72	さいたま市	124	静岡市	811
第16位	千葉市	2	岡山市	68	新潟市	118	新潟市	801
第17位	浜松市	2	浜松市	55	京都市	114	千葉市	784
第18位	堺市	1	千葉市	49	浜松市	86	岡山市	782
第19位	さいたま市	0	新潟市	48	岡山市	67	浜松市	656
第20位	川崎市	0	相模原市	47	相模原市	65	相模原市	558
第21位	相模原市	0	熊本市	31	熊本市	40	熊本市	538

・データの出所：「平成28年経済センサス - 活動調査」(総務省)

図表77 運輸業・郵便業の従業者数の大都市比較(平成28年)

(単位：人)

	運送業 郵便業計		鉄道業		道路旅客運送業		道路貨物運送業		水運業	
	全国	3,196,331	全国	226,354	全国	514,236	全国	1,651,296	全国	47,744
	21大都市	1,129,934	21大都市	111,086	21大都市	214,707	21大都市	463,919	21大都市	20,883
第1位	東京特別区	371,442	東京特別区	41,031	東京都別	77,301	東京都別	119,932	東京都別	11,507
第2位	大阪市	104,350	大阪市	17,136	横浜市	14,143	大阪市	40,158	大阪市	2,328
第3位	横浜市	90,845	名古屋市	7,827	福岡市	12,765	横浜市	39,017	横浜市	1,357
第4位	名古屋市	71,719	横浜市	6,152	札幌市	12,617	名古屋市	30,115	神戸市	1,097
第5位	神戸市	52,069	広島市	3,983	大阪市	12,440	札幌市	20,711	北九州市	1,050
第6位	福岡市	49,775	さいたま市	3,804	名古屋市	11,894	神戸市	20,500	名古屋市	883
第7位	札幌市	42,158	札幌市	3,543	京都市	11,215	福岡市	20,095	広島市	840
第8位	川崎市	36,745	仙台市	3,187	神戸市	8,346	仙台市	17,186	福岡市	727
第9位	仙台市	33,967	京都市	3,009	広島市	7,219	川崎市	15,800	静岡市	239
第10位	広島市	32,198	千葉市	2,765	仙台市	6,614	広島市	15,606	新潟市	221
第11位	京都市	32,120	新潟市	2,431	北九州市	5,715	さいたま市	14,125	札幌市	113
第12位	北九州市	29,231	川崎市	2,414	川崎市	5,177	岡山市	13,658	川崎市	88
第13位	さいたま市	28,589	福岡市	2,260	さいたま市	4,862	北九州市	13,519	岡山市	85
第14位	千葉市	25,010	神戸市	2,016	堺市	3,812	新潟市	13,429	堺市	84
第15位	新潟市	23,691	岡山市	1,974	熊本市	3,402	千葉市	12,757	熊本市	80
第16位	岡山市	22,103	北九州市	1,669	新潟市	3,333	京都市	11,610	仙台市	67
第17位	静岡市	19,766	静岡市	1,634	千葉市	3,229	堺市	11,407	浜松市	45
第18位	堺市	19,531	浜松市	1,471	岡山市	3,173	浜松市	9,946	京都市	29
第19位	浜松市	16,980	相模原市	1,211	静岡市	2,871	静岡市	9,895	千葉市	28
第20位	相模原市	16,655	堺市	840	浜松市	2,606	相模原市	8,795	相模原市	15
第21位	熊本市	10,990	熊本市	729	相模原市	1,973	熊本市	5,658	さいたま市	0

(単位：人)

	航空運輸業		倉庫業		運輸に附帯するサービス業		郵便業 (信書便事業を含む)	
	全国	50,901	全国	201,073	全国	393,459	全国	111,268
	21大都市	36,707	21大都市	60,354	21大都市	167,600	21大都市	54,678
第1位	東京特別区	32,908	東京特別区	15,270	東京特別区	56,664	東京特別区	16,829
第2位	福岡市	1,285	大阪市	6,885	横浜市	18,755	大阪市	7,046
第3位	大阪市	647	横浜市	5,757	大阪市	17,710	横浜市	5,641
第4位	北九州市	500	神戸市	4,832	名古屋市	13,215	名古屋市	4,357
第5位	神戸市	359	川崎市	3,984	神戸市	12,346	川崎市	4,347
第6位	札幌市	266	福岡市	3,425	福岡市	6,799	神戸市	2,573
第7位	名古屋市	191	名古屋市	3,237	北九州市	5,354	福岡市	2,419
第8位	新潟市	144	仙台市	1,993	川崎市	4,935	京都市	2,148
第9位	広島市	101	札幌市	1,860	千葉市	4,177	仙台市	1,455
第10位	岡山市	85	さいたま市	1,807	仙台市	3,449	千葉市	1,365
第11位	京都市	69	京都市	1,773	さいたま市	3,117	岡山市	1,092
第12位	静岡市	66	相模原市	1,564	静岡市	2,825	新潟市	1,083
第13位	横浜市	23	広島市	1,361	相模原市	2,743	静岡市	902
第14位	堺市	20	静岡市	1,334	札幌市	2,731	さいたま市	874
第15位	仙台市	16	堺市	1,131	広島市	2,711	北九州市	666
第16位	千葉市	15	浜松市	1,051	新潟市	2,507	広島市	377
第17位	熊本市	7	岡山市	814	京都市	2,267	熊本市	371
第18位	浜松市	5	北九州市	758	堺市	1,929	相模原市	354
第19位	さいたま市	0	千葉市	674	浜松市	1,702	札幌市	317
第20位	川崎市	0	新潟市	543	岡山市	1,222	堺市	308
第21位	相模原市	0	熊本市	301	熊本市	442	浜松市	154

・データの出所：「平成28年経済センサス - 活動調査」(総務省)

## 駅乗車人員からみた鉄道業

堺市内主要駅の乗車人員は、平成 27 年度から令和元年度にかけて 14 駅のうち 6 駅が増加、8 駅が減少となっている。

平成 27 年度から令和元年度にかけての増減率をみると、増加では御堂筋線の北花田駅が 6.1%、南海本線の堺駅が 5.8%、泉北高速鉄道の深井駅が 4.5%などとなり、減少では南海高野線の三国ヶ丘駅が 27.4%、泉北高速鉄道の中百舌鳥駅が 25.3%、南海高野線の中百舌鳥駅が 16.2%などとなっている。

令和元年度の 1 日平均乗車人員をみると、乗車人員が最も多いのは、御堂筋線のなかもず駅 7 万 6,151 人、次いで泉北高速鉄道の中百舌鳥駅 6 万 536 人、南海高野線の中百舌鳥駅 5 万 6,233 人となり、主要 14 駅の乗車人員の約 42%を占めている。

図表 78 堺市内主要駅の 1 日平均乗車人員の推移

駅名		平成 27 年度 (人)	平成 28 年度 (人)	平成 29 年度 (人)	平成 30 年度 (人)	令和元年度 (人)	増減率(%) (27 年度 令和元年度)
J R 阪和線	三国ヶ丘	23,956	24,000	23,947	24,054	24,227	1.1
Osaka Metro 御堂筋線	なかもず	79,690	74,398	74,041	75,563	76,151	4.4
	北花田	24,790	24,476	24,113	26,066	26,294	6.1
	新金岡	21,446	20,926	21,253	21,414	21,512	0.3
南海本線	堺	26,372	27,520	27,765	27,949	27,898	5.8
南海高野線	堺東	43,362	43,162	43,306	43,290	43,603	0.6
	三国ヶ丘	27,353	27,008	27,227	27,548	19,848	27.4
	中百舌鳥	67,137	68,686	69,980	70,917	56,233	16.2
	北野田	23,298	23,013	23,045	22,727	22,365	4.0
泉北高速 鉄道	中百舌鳥	81,041	80,677	80,729	80,589	60,536	25.3
	深井	17,926	18,020	18,235	18,560	18,731	4.5
	泉ヶ丘	29,666	29,123	28,943	28,837	28,404	4.3
	榎・美木多	14,758	14,413	14,132	13,843	13,863	6.1
	光明池	22,065	21,731	21,694	21,557	21,207	3.9

・データの出所：「堺市統計書」(堺市政策企画部)

## 堺泉北港の現状

堺泉北港に入港した船舶の総トン数の推移をみると、外航船は平成 24 年まで増加した後、減少傾向に転じ、令和元年の総トン数が 4,518 万トンとなっている。内航船は平成 18 年まで増加傾向にあったが、平成 19 年から平成 23 年にかけて減少傾向にあり、その以降、再び増加傾向に転じ、令和元年の総トン数が 3,284 万トンとなっている。

海上出入貨物の推移をみると、輸入は平成 28 年まで約 2,500 万トン前後で推移し、令和元年は 2,054 万トンに減少した。輸出は平成 12 年が 203 万トンだったが、平成 28 年が 466 万トンと平成 12 年の 2.3 倍近くに増加した後、減少傾向に転じ、令和元年の総トン数が 388 万トンとなっている。

貨物取扱量の主要品種別構成をみると、輸出ではその他の石油が 35.2%、完成自動車が 32.3%、輸入では原油が 43.2%、液体天然ガスが 39.1%、移出では完成自動車が 34.8%、その他が 17.2%、移入では完成自動車が 25.1%、原油が 24.8%などとなっている。

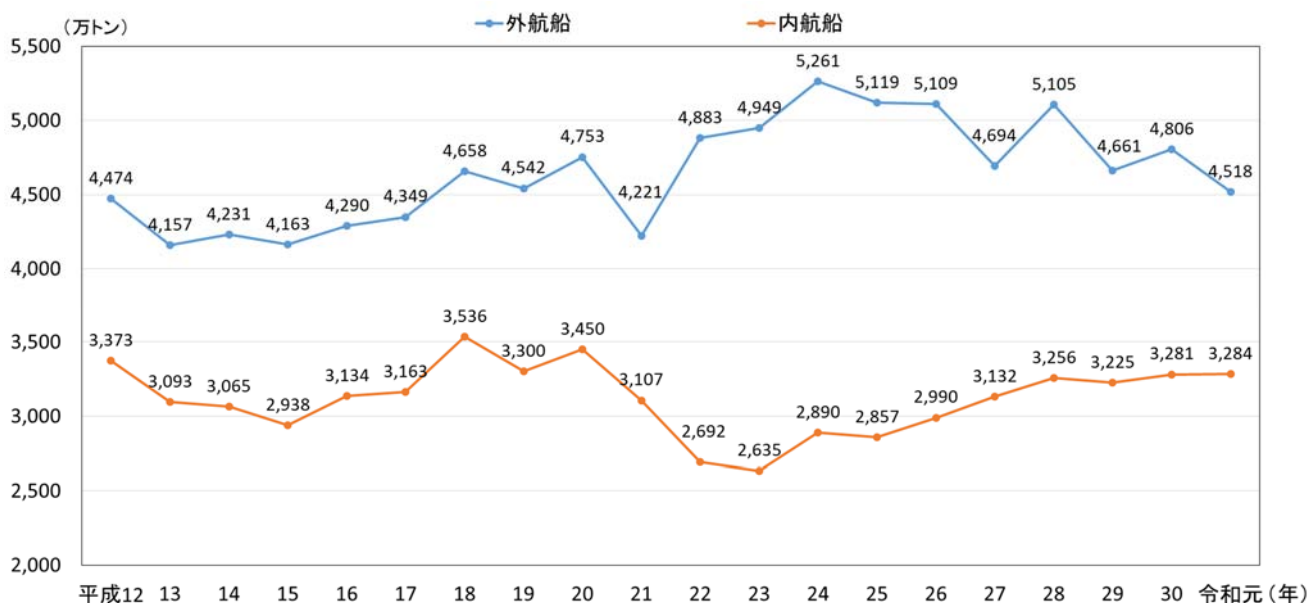
貿易高をみると、輸出、輸入ともに平成 28 年から平成 30 年にかけて増加傾向にあったが、令和元年に減少に転じた。品目別貿易高をみると、輸出では平成 28 年から令和元年に

かけて品目の構成比は大きな変化がなく、令和元年の構成比は機械類及び輸送用機器が36.2%、鉱物性燃料が28.4%、原料別製品が16.6%、化学製品が12.8%などとなっている。輸入では輸出と同様に平成28年から令和元年にかけて品目の構成比は大きな変化がなく、令和元年の構成比は鉱物性燃料が89.2%、原料別製品が5.8%などとなっている。

全国の貨物取扱量上位20港における合計貨物取扱量をみると、堺泉北港は第11位で、そのうち輸出、輸入はともに第16位、移出は第8位、移入は第4位となっている。

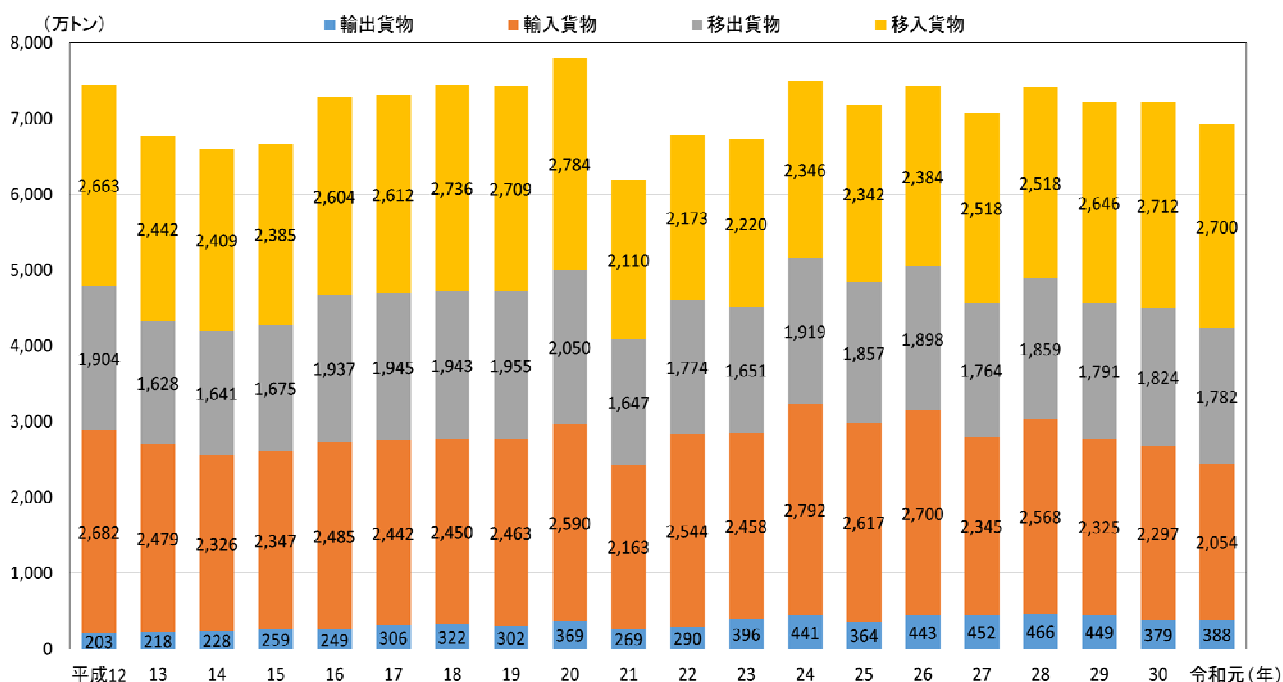
品種別上位10港にみた堺泉北港の特徴は、移出では重油(第3位)、鋼材(第8位)、石油製品(第9位)の順位が高くなっている。また、移入では鋼材(第2位)、重油(第5位)、石油製品(第10位)の順位が高くなっている。そして、輸入では、原油(第5位)、液体天然ガス(第7位)の順位が高くなっている。

図表 79 堺泉北港の入港船舶の総トン数



・データの出所：「堺市統計書」(堺市政策企画部)

図表 80 堺泉北港の海上出入貨物の推移



・データの出所：「堺市統計書」(堺市政策企画部)

図表 81 堺泉北港の入港船舶及び海上出入貨物の推移

(単位：万トン)

	入港船舶総トン数			海上出入貨物			
	外航船	内航船	計	輸出貨物	輸入貨物	移出貨物	移入貨物
平成12年	4,474	3,373	7,847	203	2,682	1,904	2,663
平成13年	4,157	3,093	7,251	218	2,479	1,628	2,442
平成14年	4,231	3,065	7,295	228	2,326	1,641	2,409
平成15年	4,163	2,938	7,101	259	2,347	1,675	2,385
平成16年	4,290	3,134	7,424	249	2,485	1,937	2,604
平成17年	4,349	3,163	7,512	306	2,442	1,945	2,612
平成18年	4,658	3,536	8,195	322	2,450	1,943	2,736
平成19年	4,542	3,300	7,842	302	2,463	1,955	2,709
平成20年	4,753	3,450	8,203	369	2,590	2,050	2,784
平成21年	4,221	3,107	7,328	269	2,163	1,647	2,110
平成22年	4,883	2,692	7,574	290	2,544	1,774	2,173
平成23年	4,949	2,635	7,584	396	2,458	1,651	2,220
平成24年	5,261	2,890	8,151	441	2,792	1,919	2,346
平成25年	5,119	2,857	7,976	364	2,617	1,857	2,342
平成26年	5,109	2,990	8,099	443	2,700	1,898	2,384
平成27年	4,694	3,132	7,826	452	2,345	1,764	2,518
平成28年	5,105	3,256	8,361	466	2,568	1,859	2,518
平成29年	4,661	3,225	7,886	449	2,325	1,791	2,646
平成30年	4,806	3,281	8,087	379	2,297	1,824	2,712
令和元年	4,518	3,284	7,802	388	2,054	1,782	2,700

・データの出所：「堺市統計書」(堺市政策企画部)

図表 82 堺泉北港の海上出入貨物取扱量及び主要品種別構成（平成 30 年）

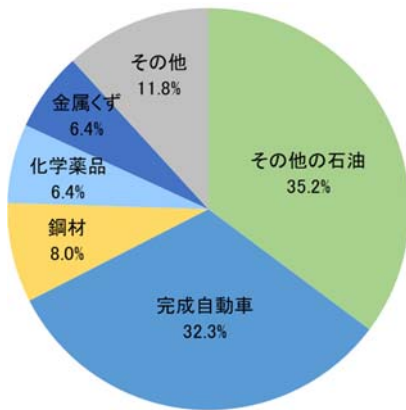
【貨物取扱量】

（単位：千トン）

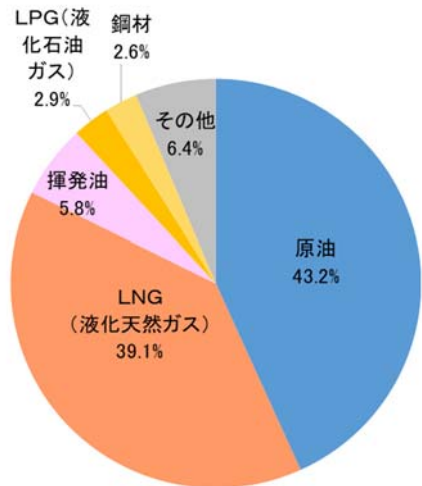
輸出貨物		輸入貨物		移出貨物		移入貨物	
総合計	3,787	総合計	22,971	総合計	18,237	総合計	27,121
その他の石油	1,333	原油	9,930	完成自動車	6,338	完成自動車	6,809
完成自動車	1,222	L N G	8,978	重油	2,739	原油	6,722
鋼材	304	揮発油	1,336	その他の石油	2,068	鋼材	5,297
化学薬品	241	L P G	668	鋼材	2,018	砂利・砂	1,565
金属くず	241	鋼材	596	揮発油	1,935	セメント	1,371
その他	446	その他	1,462	その他	3,139	その他	5,358

【構成比】

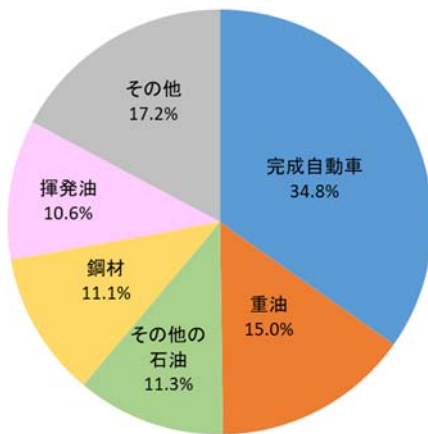
輸出貨物



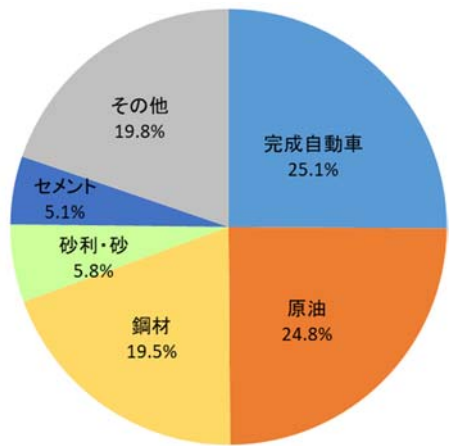
輸入貨物



移出貨物



移入貨物



・データの出所：「大阪府営港湾の港勢」（大阪府港湾局）



図表 83 堺泉北港の品目別貿易高

	平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年		令和元年	
	貿易高 (百万円)	割合 (%)	貿易高 (百万円)	割合 (%)	貿易高 (百万円)	割合 (%)	貿易高 (百万円)	割合 (%)
輸出総額	444,353	100.0	464,859	100.0	511,130	100.0	439,842	100.0
食料品及び動物	609	0.1	493	0.1	572	0.1	1,038	0.2
飲料及びたばこ	210	0.0	156	0.0	779	0.2	84	0.0
原材料	10,269	2.3	13,520	2.9	13,278	2.6	7,198	1.6
鉱物性燃料	111,070	25.0	116,497	25.1	138,042	27.0	124,701	28.4
動植物性油脂	2	0.0	4	0.0	2	0.0	1	0.0
化学製品	65,010	14.6	71,322	15.3	62,601	12.2	56,135	12.8
原料別製品	81,524	18.3	82,961	17.8	92,994	18.2	73,138	16.6
機械類及び輸送用機器	158,144	35.6	163,882	35.3	180,089	35.2	159,334	36.2
雑製品	1,558	0.4	1,736	0.4	3,505	0.7	1,705	0.4
特殊取扱品	15,956	3.6	14,291	3.1	19,269	3.8	16,508	3.8

	平成 28 年		平成 29 年		平成 30 年		令和元年	
	貿易高 (百万円)	割合 (%)	貿易高 (百万円)	割合 (%)	貿易高 (百万円)	割合 (%)	貿易高 (百万円)	割合 (%)
輸入総額	1,159,138	100.0	1,381,008	100.0	1,686,630	100.0	1,407,312	100.0
食料品及び動物	28,152	2.4	30,436	2.2	34,374	2.0	31,935	2.3
飲料及びたばこ	94	0.0	256	0.0	189	0.0	326	0.0
原材料	8,113	0.7	7,695	0.6	6,843	0.4	7,165	0.5
鉱物性燃料	1,030,871	88.9	1,224,547	88.7	1,513,902	89.8	1,255,071	89.2
動植物性油脂	3,798	0.3	4,438	0.3	4,128	0.2	4,239	0.3
化学製品	8,468	0.7	12,595	0.9	13,033	0.8	11,832	0.8
原料別製品	70,326	6.1	82,943	6.0	91,707	5.4	81,471	5.8
機械類及び輸送用機器	2,107	0.2	6,778	0.5	2,485	0.1	2,722	0.2
雑製品	6,891	0.6	9,015	0.7	13,143	0.8	11,719	0.8
特殊取扱品	319	0.0	2,304	0.2	6,826	0.4	831	0.1

注：

- ・ データの出所：「外国貿易年表」（大阪税関）
- ・ 少数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100 とはならない。

図表 84 貨物取扱量上位 20 港（平成 30 年）

（単位：万トン）

	合計		外国貿易				内国貿易			
			輸出		輸入		移出		移入	
第 1 位	名古屋	19,659	名古屋	5,371	千葉	8,276	苫小牧	4,454	苫小牧	4,535
第 2 位	千葉	15,320	横浜	3,285	名古屋	7,594	名古屋	3,514	北九州	3,658
第 3 位	横浜	11,396	神戸	2,371	水島	4,568	千葉	3,368	名古屋	3,180
第 4 位	苫小牧	10,744	東京	1,329	横浜	4,563	北九州	3,264	堺泉北	2,712
第 5 位	北九州	10,176	水島	1,000	川崎	4,324	喜入	2,693	千葉	2,711
第 6 位	神戸	9,549	千葉	964	木更津	4,241	大阪	2,139	大阪	2,672
第 7 位	東京	9,154	大阪	963	東京	3,654	水島	2,024	東京	2,597
第 8 位	水島	8,674	博多	833	鹿島	3,650	堺泉北	1,824	神戸	2,536
第 9 位	大阪	8,433	川崎	749	四日市	3,598	大分	1,800	横浜	2,079
第 10 位	川崎	8,109	福山	734	大分	2,993	神戸	1,796	仙台塩釜	1,714
第 11 位	堺泉北	7,212	北九州	727	神戸	2,845	徳山下松	1,602	川崎	1,560
第 12 位	大分	6,374	鹿島	579	福山	2,666	東京	1,575	徳山下松	1,523
第 13 位	木更津	6,308	大分	571	大阪	2,659	仙台塩釜	1,493	博多	1,217
第 14 位	四日市	6,056	四日市	422	喜入	2,646	四日市	1,478	水島	1,083
第 15 位	鹿島	5,969	木更津	398	北九州	2,527	川崎	1,476	大分	1,010
第 16 位	喜入	5,382	堺泉北	379	堺泉北	2,297	横浜	1,469	木更津	787
第 17 位	徳山下松	5,133	徳山下松	364	徳山下松	1,644	鹿島	1,158	鹿島	582
第 18 位	仙台塩釜	4,825	仙台塩釜	196	苫小牧	1,627	木更津	883	四日市	558
第 19 位	福山	4,393	苫小牧	128	仙台塩釜	1,422	福山	611	福山	381
第 20 位	博多	3,686	喜入	31	博多	1,107	博多	529	喜入	13

・データの出所：「港湾調査年報」（国土交通省）

図表 85 移出・移入貨物の品種別上位 10 港（平成 30 年）

（単位：千トン）

	石油製品				重油				鋼材			
	移出		移入		移出		移入		移出		移入	
第 1 位	千葉	8,099	東京	4,433	千葉	5,122	室蘭	1,631	大分	4,596	千葉	5,386
第 2 位	水島	5,727	千葉	2,912	水島	2,764	水島	1,227	水島	3,948	堺泉北	5,297
第 3 位	四日市	4,184	博多	2,002	堺泉北	2,739	千葉	938	呉	3,580	名古屋	4,699
第 4 位	宇部	3,393	苫小牧	1,888	四日市	2,569	名古屋	893	東播磨	2,903	北九州	3,396
第 5 位	川崎	2,897	泉州	1,450	横浜	2,051	堺泉北	778	姫路	2,545	大阪	2,093
第 6 位	横浜	2,611	名古屋	1,367	苫小牧	1,517	四日市	727	木更津	2,385	東予	1,504
第 7 位	苫小牧	2,329	釧路	1,191	宇部	1,496	川崎	611	鹿島	2,051	徳山下松	1,495
第 8 位	鹿島	2,290	新潟	1,076	仙台塩釜	1,495	徳山下松	599	堺泉北	2,018	衣浦	1,377
第 9 位	堺泉北	2,068	徳山下松	1,044	大分	1,350	鹿島	556	和歌山下津	1,939	横浜	1,174
第 10 位	岩国	1,591	堺泉北	1,029	鹿島	1,344	坂出	553	室蘭	1,348	東京	1,139
計(A)		35,189		18,392		22,447		8,513		27,313		27,560
全国計(B)		42,805		39,624		30,903		20,612		38,841		39,641
A/B(%)		82.2		46.4		72.6		41.3		70.3		69.5

・データの出所：「港湾調査年報」（国土交通省）

図表 86 輸入貨物の品種別上位 10 港（平成 30 年）

（単位：千トン）

	原油		【LNG】液体天然ガス	
	輸入		輸入	
第 1 位	千葉	29.632	千葉	24.072
第 2 位	喜入	26.456	木更津	23.624
第 3 位	四日市	15.656	名古屋	16.700
第 4 位	水島	15.254	姫路	16.447
第 5 位	堺泉北	9.930	川崎	16.264
第 6 位	川崎	8.598	四日市	12.909
第 7 位	鹿島	7.742	堺泉北	8.978
第 8 位	名古屋	7.544	横浜	8.367
第 9 位	横浜	7.108	新潟	8.229
第 10 位	宇部	6.298	直江津	5.258
計(A)	134.218		140.848	
全国計(B)	157.215		160.562	
A/B(%)	85.4		87.7	

・データの出所：「港湾調査年報」（国土交通省）